

【こころのもり 設立の経緯】

平成22年12月、陸前高田市の自殺予防対策事業「傾聴ボランティア養成講座」が実施されました。その受講生を中心に傾聴ボランティア自主サークルが立ち上がりました。

平成23年3月11日の東日本大震災によって、サークルリーダー及び、会員の多くを失い、活動休止状態となりました。

平成24年8月、活動再開を願う会員が再び集まり、活動可能な会員5名が「こころのもり」として旗揚げしました。現在は新規会員を含め10名で市内の傾聴活動をしています。

決して 忘れない
あの日のことを！
決して 諦めない
これからのことを

【後援】

陸前高田市福祉部保健課
特活) 京都自死・自殺相談センター

このリーフレットは、ユニバーサル財団からの助成によって作成されました。

【お問い合わせ先】

◆こころのもり

TEL: 090-5185-1375 (こころのもり)

TEL: 090-5413-5751 (代表 西條正夫)

◆陸前高田市役所福祉部保健課

TEL: 0192-54-2111 (代表)



陸前高田市傾聴ボランティア こころのもり



イラスト：とよだまりさ

活動内容

◆訪問活動

市内各所の災害公営住宅や、応急仮設住宅などへ訪問し、お話を聴かせていただきます。

◆お茶会、サロンなどへの訪問

市役所との協働事業として、さまざまな集会所で、お話を聴かせていただきます。

◆講師派遣

傾聴についての勉強会の開催や、各種情報を提供いたします。



ボランティア養成講座の開講

2013年より年間2回、こころのもりの活動に参加していただくために、ボランティア養成講座を開催しています。座学と体験学習を交えた養成講座です。新規の方も、学びの場として複数回受講されている方もいらっしゃいます。

東 海 楽 軒 幸 辰 平成26年(2014年)8月27日(水曜日) 日刊(月曜日休刊) (6)

思いの受け取り方学ぶ 4回目のボラ養成講座

大船渡で

仮設住宅の居室 悲嘆や苦痛を受け止めらる増やしていくことを目的とする。開催は4回目です。今回は、浄土真宗本願寺派の同い、大船渡市盛(西本願寺、京都府)派から委託を受けたNPO法人京都目黒・自殺相談センターの職員らが講師を務めた。参加者は初めに、仮設住宅に住む人たちがどんな思いを抱えているか、どんな悩みを持っているか、と思うことを書いてみる。その上で、相手の状況、多様な考え方があろう、先入観を持って訪問してはいけない、ということを書いた。同講座では毎回、話をされる側(コラー)と話を聞く側(ローラー)を模範のロールプレイを行い、参加者がやり方を示したリアスロー

とそれを聞く側(ローラー)に分かれたロールプレイ(模擬会話)を重視。さまざまな状況下に置かれた人々を想定して、話し方や表情、やり取りの中からの気持ちよく取る訓練を行い、それをオザーバーが見守るという形式を取る。同センターの竹本博代表は「いきなり話を聞きに行っても相手を傷つけてしまってもある。ロールプレイは練習の場。うまくいったら良いのは、もう一回、もう一回、というふうに、いろいろなことを繰り返すことで、誰でも良い聞き手になれる」と話した。参加者はロールプレイを通じ、相手から無理やりに話を引き出すというより、決定的な思い込みによる安易なアドバイス、励ましなどをせず、話す側の気持ちや「そのまま受け取る」重要性を学んだ。

こころのもりが
大切にしていること

サークル名の

「こころの(守)もり」には、

悲しみ・憤り・悩みを抱えた人を、

ひとりにさせたくない

一人ひとりの気持ちに寄り添って、

こころを守りたい

という会員の思いが込められています。



こころのもり事務所「とまり木」広田町田端